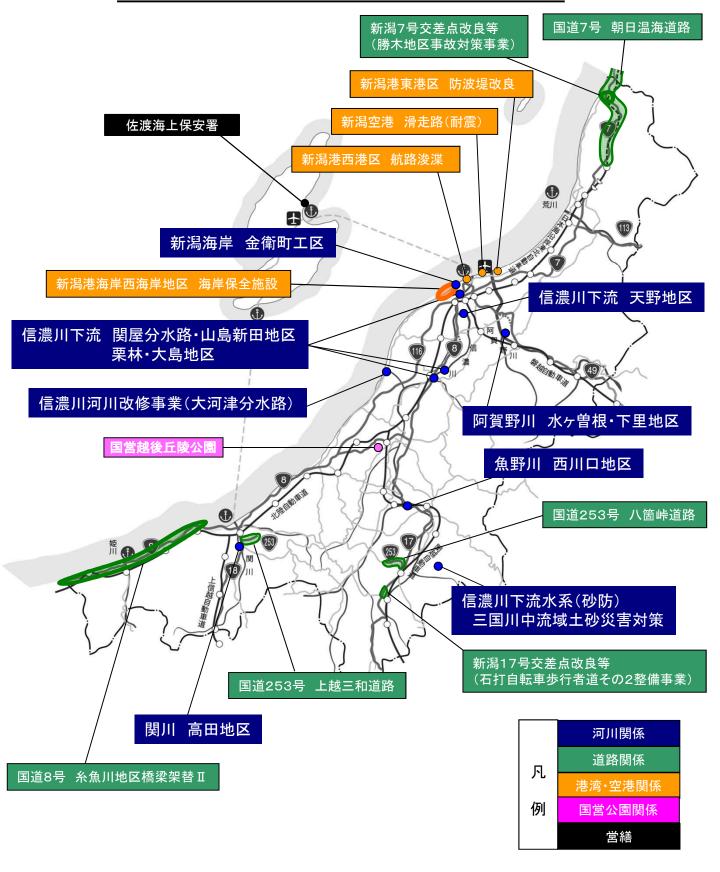
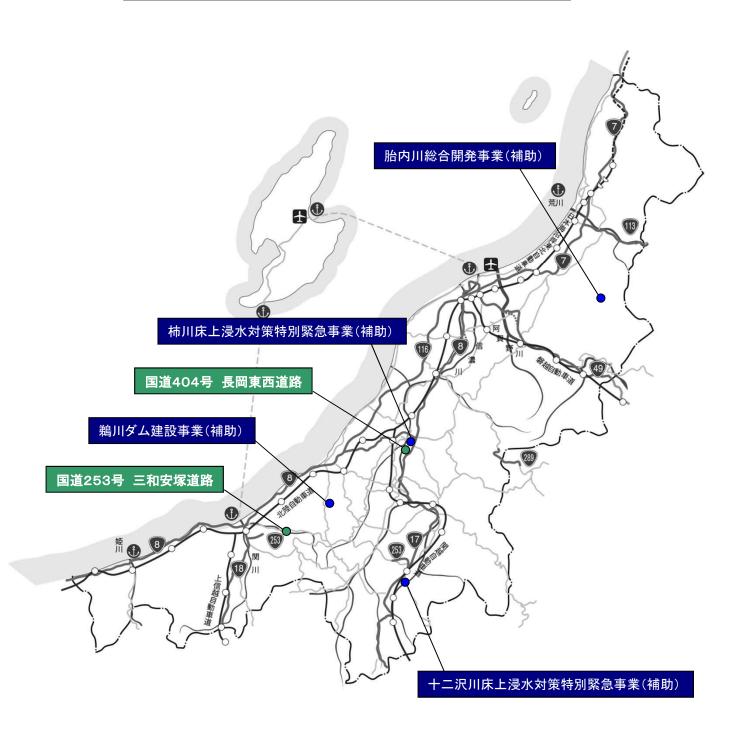
平成28年度 北陸地方整備局関係予算 主要事業

[参考資料]

新潟県内の主要事業(直轄)



新潟県内の主要事業(補助)



魚野川 河道掘削の推進

新潟県長岡市(西川口地区)

H28事業費 4,149百万円※

※信濃川河川改修事業のH28全体事業費

事業の概要

信濃川の支川である魚野川左岸の長岡市西川口地区では、流下能力が不足しており、平成25年9月洪水では計画高水位を超過し、危険な状態となりました。洪水により堤防が決壊した場合、氾濫により家屋や小学校、福祉施設等で浸水被害が発生する危険性があります。

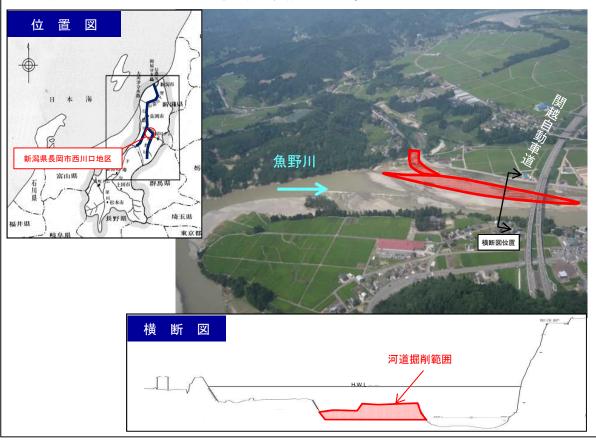
堤防決壊による浸水被害を防止するため、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」※の取組における「洪水を安全に流すためのハード対策」の一環として、河道掘削を行うものです。

整備効果

河道掘削の実施により、平成25年9月洪水と同規模の洪水を安全に流下させることが可能となります。

平成28年度の事業内容

河道掘削と支川合流点処理を行い、事業を完成させます。



- ※「水防災意識社会 再構築ビジョン」
- ➤ 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について~社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて~」が答申されました。
- ➤ 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- ▶ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

信濃川 大河津分水路の改修の推進

新潟県長岡市、燕市

H28事業費 4,149百万円※

※信濃川河川改修事業のH28全体事業費

事業の概要

大河津分水路は信濃川の洪水から越後平野を守るため、大正11年(1922年)に通水した延長約9kmの人口の放水路ですが、河口部は洪水を安全に流下させるための断面が不足しています。平成23年7月洪水では、分水路直上流で計画高水位を超過し、危険な状態となりました。また、分水路建設後90年以上が経過し、施設の老朽化・機能低下も顕著になっています。

大河津分水路より上流側に位置する信濃川中流部や千曲川をはじめ、信濃川水系全体の洪水処理能力を向上させるため、最下流に位置する大河津分水路の改修に平成27年度より着手しました。

大河津分水路の改修にあたっては、課題となっている流下能力向上や河床の安定、老朽化施設の対策として、河口山地部掘削、低水路拡幅、第二床固の改築等を実施します。

整備効果

大河津分水路の改修により洪水時の水位が低下し、堤防決壊による浸水被害が防止されます。

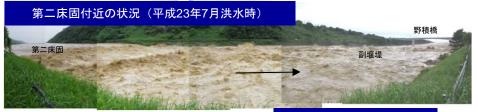
平成28年度の事業内容

河道拡幅のための用地取得及び河道掘削を推進します。





流下能力が不足し、抜本的な改修が必要な大河津分水路





新潟県新潟市 (天野地区)

2.688百万円※

※信濃川下流河川改修事業のH28全体事業費

事業の概要

信濃川下流域では、平成10年8月に新潟市街地を中心とした集中豪雨による甚大な内水被害が 発生し、さらに平成16年7月、平成23年7月の新潟・福島豪雨など、近年、頻繁に洪水の被害 を受けています。

信濃川下流域は海岸砂丘に閉ざされたゼロメートル地帯の低平地であるとともに、人口・資産が 集中し、ひとたび氾濫すると甚大な被害が予想されることから、復旧活動の迅速かつ効率的な実施 が可能となるよう、平成27年度より、信濃川右岸の天野地区において、復旧活動の拠点となる天 野地区河川防災ステーションの整備を進めています。

整備効果

河川防災ステーションの整備により、信濃川下流域の地域防災力の向上を図ります。

平成28年度の事業内容

天野地区において河川防災ステーション整備を推進します。



イメージパース





しなのがわかりゅう

H28事業費 **| 応)** 2,688百万円※

信濃川下流 河道掘削の推進 (平成23年7月新潟・福島豪雨対応) 2.6

新潟県新潟市(関屋分水路地区)、加茂市(山島新田地区)、三条市(栗林・大島地区)

※信濃川下流河川改修事業のH28全体事業費

事業の概要

ほみょうしんでん いからしがわ

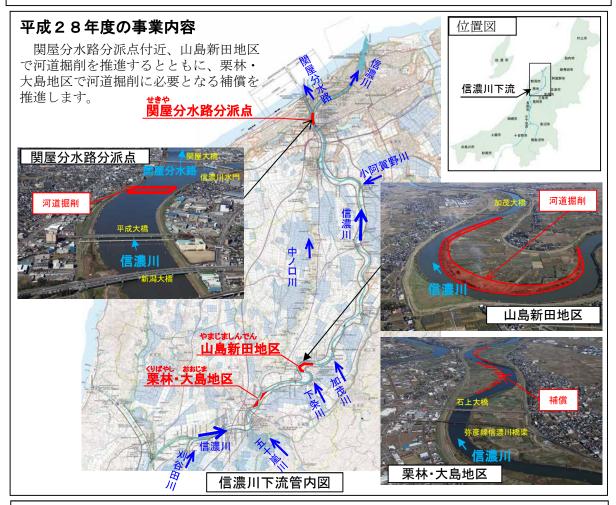
信濃川下流では、平成23年7月新潟・福島豪雨出水で本川の保明新田から五十嵐川合流点までの区間で、計画高水位(HWL)を超過し、危険な状態となったことから、洪水時の水位を低減させ、洪水の安全な流下を図るため、平成24年度より関屋分水路等で河道掘削を実施しています。

河道掘削による水位低減は、信濃川本川に加え、平成23年7月の出水で堤防高近くまで水位が上昇した支川(加茂川・下条川)や中ノロ川の水位低減にもつながるものです。

また、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」※の取組における「洪水を安全に流すためのハード対策」の一環としても引続き河道掘削を推進します。

整備効果

河道掘削の実施により、信濃川下流域の本川、支派川の治水安全度が向上します。



- ※「水防災意識社会 再構築ビジョン」
- ➤ 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について~社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて~」が答申されました。
- ➤ 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- ▶ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

関川 河道掘削の推進

新潟県上越市 (高田地区)

H28事業費 260百万円※

※関川河川改修事業のH28全体事業費

事業の概要

関川においては、これまでの度重なる水害を受け、堤防整備を進めてきましたが、国管理区間上流部では洪水の安全な流下に必要な断面が不足する区間があり、戦後最大規模の洪水が発生した場合に計画高水位を超過するため、堤防決壊の恐れがあります。

堤防決壊による浸水被害を防止するため、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」※の取組における「洪水を安全に流すためのハード対策」の一環として、河道掘削を行うものです。

整備効果

河道掘削の実施により、戦後最大規模の洪水を安全に流下させることが可能となります。

平成28年度の事業内容

背後が市街地となっている高田地区において、河道掘削を推進します。







- ※「水防災意識社会 再構築ビジョン」
- ➤ 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について~社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて~」が答申されました。
- ➤ 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- ➤ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

阿賀野川 自然再生事業の推進(水ヶ曽根地区他)

新潟県阿賀野市

H28事業費 138百万円※

※阿賀野川水系総合水系環境整備事業のH28全体事業費

事業の概要

阿賀野川では、かつて多くのワンド、湿地、砂礫河原などの様々な環境があり、ウケクチウグイやイトヨ、丸兄ラハハコ等の多様な動植物が生息・生育していました。しかし、砂利採取等による河床低下や澪筋(平常時に川の水が流れているところ)の固定化により高水敷の樹林化が進行する一方で、ワンドや広大な砂礫河原等が大幅に減少し、貴重な水生生物、砂礫河原固有の動植物の生息・生育環境等が失われてきています。

本事業はワンド、湿地、砂礫河原の再生等により、貴重な動植物の生息・生育環境等の保全・再生を図るものです。

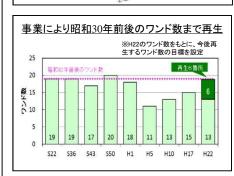
整備効果

ワンド、湿地、砂礫河原の再生等を進めることで、かつての阿賀野川らしい多様な水辺環境を創出し、ウケクチウグイやイトヨ、カワラハハコ等の動植物の増加が期待できます。

平成28年度の事業内容

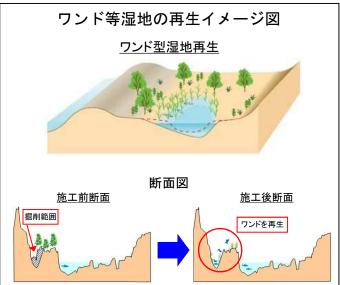
***が そね 水ヶ曽根地区及び下里地区においてワンド・湿地の再生(河床整正)を推進します。











しな の がわ か りゅう

さぐりがわちゅうりゅういきどしゃさいがいたいさく

信濃川下流水系直轄砂防事業(三国川中流域土砂災害対策)の推進

新潟県南魚沼市

H28事業費 132百万円

事業の概要

信濃川水系魚野川支川の三国川流域では、平成23年7月新潟・福島豪雨により土石流が発生し、 下流一帯が土石流による災害に見舞われました。特に、堆積土砂によって流向が変わり、高平沢に 土石流が集中したため、下流の土沢地区の家屋が甚大な被害を受けました。

本流域内には、依然大量の不安定な土石流堆積物が堆積しており、再度豪雨に見舞われた場合に、 土石流が発生する可能性が高く、直下流に発電施設も存在することから、再度災害が発生した場合、 その影響がより広域に及ぶことが懸念されるため、早急に砂防堰堤を整備する必要があります。

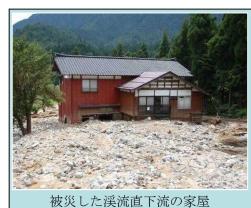
整備効果

砂防堰堤の整備により、再度災害を防止し、魚野川流域における土砂災害に対する安全度を向上させます。





不安定土砂が堆積する堰堤計画位置(土沢)



新潟海岸 侵食・越波対策の推進(釜衛町工区)

新潟県新潟市

H28事業費 679百万円※

※新潟海岸直轄海岸保全施設整備事業のH28全体事業費

事業の概要

新潟海岸金衛町工区(延長約2.9km)は、海岸侵食の進行が著しく、災害が発生した場合、新潟市街地への影響が甚大となる恐れがあります。また、周辺海岸は海水浴やサーフィン等、年間を通じた利用が盛んであり、古くから地域に親しまれてきました。

このことから、広域にわたる侵食制御と砂浜の安定を図るため、直轄海岸保全施設整備事業により抜本的な保全対策を実施しています。

整備効果

海岸保全施設整備を実施することにより、侵食対策とともに波の打ち上げ高の低減が図られ、背後地の安全度が向上します。

平成28年度の事業内容

新潟市金衛町工区において人工リーフ及びヘッドランドの整備を推進します。







冬期風浪状況(平成27年3月)



金衛町工区被災状況(平成18年9月)

国道 8 号 糸魚川地区橋梁架替 II 事業 (歌高架橋) の新橋への切り替え

新潟県糸魚川市

H28事業費 2,807百万円

事業の概要

糸魚川地区橋梁架替Ⅱは、国道8号の糸魚川市の塩害環境下にある区間において、塩害による 損傷が著しい橋梁の恒久対策として架替を行い、安全で円滑な交通を確保することを目的とした 事業です。

整備効果

- 緊急輸送道路の機能の確保
- 安全で円滑な交通の確保
- ・損傷による荷重制限等の規制の回避

平成28年度の事業内容

平成28年度は、歌高架橋(延長1.0km)の改良工事、 橋梁上部工事及び舗装工事を推進し、年度内の新橋への 切り替えを予定しています。





暦の施工状況

至富山市

歌高架橋

平成28年度新橋切り替え予定

延長1.0km(完成2車線)

新潟7号交差点改良等 (勝木地区事故対策事業)の完成

新潟県村上市

H28事業費 66百万円

事業の概要

当該箇所は、急なカーブ区間 (R=100m) となっており、前方を視認しづらく、カーブ先の交差点に滞留している車両への追突事故が多発している事故危険区間となっています。

本事業は、道路の線形(視距)改良を行うことにより、視認性を確保し、追突事故の防止を図るとともに交差点改良による右折車線を確保するものです。

整備効果

・視認性を確保することによる追突事故の防止

平成28年度の事業内容

平成28年度は、引き続き工事を推進し、年度内の完成を 予定しています。







新潟17号交差点改良等 (石打自転車歩行者道その2整備事業)の完成

新潟県南魚沼市

H28事業費 192百万円

事業の概要

当該箇所は、歩道が整備されていないため、周辺集落から石打小学校へ通学する児童は狭い市道 を迂回通学路として利用しています。また、当該区間において、過去に車と自転車の死亡事故が発 生しており、早期の歩道整備を要望されています。

本事業は、自転車歩行者道を新設することにより、歩行者や自転車の安全・安心な歩行空間の確 保を行うものです。

整備効果

・安全、安心な通行空間の確保

平成28年度の事業内容

平成28年度は、引き続き工事を推進し、年度内の完成を 予定しています。







にほんかい とうほく [日本海沿岸東北自動車道]

国道フ号朝日温海道路事業の推進

新潟県村上市

H28事業費 2,500百万円

事業の概要

朝日温海道路は、日本海沿岸東北自動車道の一部を構成し、災害時における広域的な緊急物資輸送のリダンダンシーの確保、第三次救急医療施設までの搬送時間の短縮、並びに安定的な物流ルートの確保を目的とした道路であり、新潟県内では、村上市川端から山形県境間の延長34.1kmで事業を推進しています。

整備効果

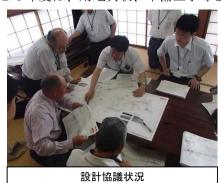
- ・災害時における広域的な緊急物資輸送のリダンダンシーの確保
- ・救急医療施設へのアクセス向上

にいがた あき た

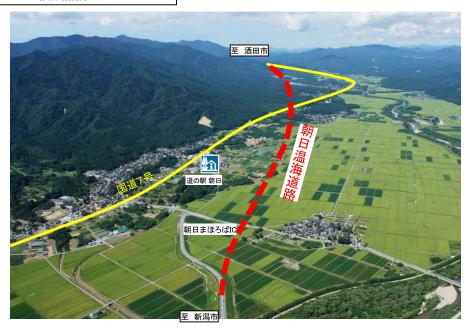
・安定的な物流ルート確保、日本海側拠点都市間や国際海上コンテナ港(新潟港、秋田港)、 及びリサイクル貨物港(酒田港)等の拠点港間の物流を支援

平成28年度の事業内容

平成28年度は、用地買収、準備工事等を推進します。







じょうえつうおぬま [地域高規格道路 上越魚沼地域振興快速道路]

国道253号 上越三和道路事業の推進

にいがた じょうえつ 新潟県上越市

H28事業費 3,000百万円

事業の概要

めた安全性・信頼性を確保し、高規格幹線道路との連携により広域的な交流を促進し、地域の活性 化に大きく寄与することを目的とした、上越市寺から同市三和区本郷に至る約7.0kmの事業で す。

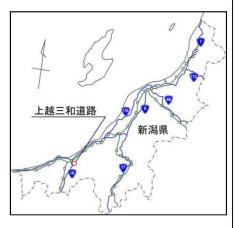
整備効果

- ・広域的な地域の連携強化・活性化
- ・冬期を含めた道路交通の安全性・信頼性の確保
- ・第三次医療施設(新潟県立中央病院)へのアクセス向上 など

平成28年度の事業内容

平成28年度は、改良工事、橋梁上下部工事等を推進 します。







じょうえつうおぬま [地域高規格道路 上越魚沼地域振興快速道路]

国道253号 八箇峠道路事業の推進

またいがた とおか まち みなみうおぬま 新潟県十日町市、同県南魚沼市

H28事業費 3,100百万円

事業の概要

「本かとうげる」 にようえっうおぬま 八箇峠道路は、上越魚沼地域振興快速道路の一部を構成する地域高規格道路であり、一般国道 253号の千日町市から南魚沼市間の事前通行規制区間の解消並びに関越自動車道六日町 I Cへの アクセス強化を目的とした、十日町市八箇から南魚沼市余川に至る約9.7kmの事業です。

整備効果

- ・通行規制区間や交通の難所である「八箇峠」の交通障害の解消
- ・魚沼生活圏の地域の活性化の支援・一体的な圏域形成
- ・地域振興の支援 など

平成28年度の事業内容

平成28年度は、改良工事、橋梁上下部工事、 舗装工事等を推進します。







新潟港 東港区 防波堤改良事業の推進

にいがた にいがた せいろうまち 新潟県新潟市・聖籠町

H28事業費 150百万円

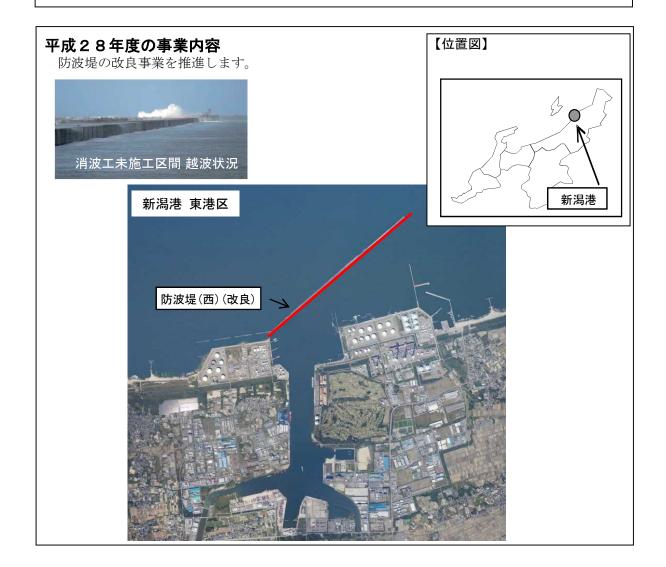
事業の概要

新潟港東港区は、本州日本海側最大の取扱量を誇る国際海上コンテナ物流拠点として、また地域 産業を支える原材料の輸入拠点としての役割を担っています。

第一線防波堤である防波堤(西)は、港内の静穏度確保のため整備しましたが、堤体の前面が洗 掘されたことによる波高増大によって不安定な状態にあります。堤体の安定性確保のため、防波堤 改良事業を推進しています。

整備効果

堤体の安定性が確保されることから、風浪等による堤体の被災が回避できます。防波堤の被災が 回避されることにより、新潟港(東港区)において、安定した港湾荷役が確保され、港湾利用を不 可欠とする企業群の経済活動を可能とし、地域経済の発展を支援します。



新潟港 西港区 航路浚渫事業の推進

にいがた にいがた 新潟県新潟市

H28事業費 3,982百万円

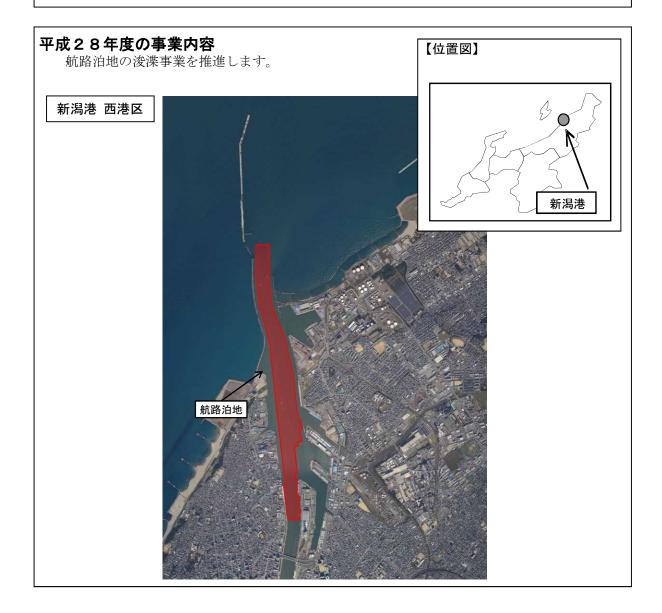
事業の概要

新潟港西港区は、環日本海交流のゲートウェイとして内貿及び国際交流拠点として重要な役割を 担っています。

現在、航行船舶の安定運航を確保するため、航路泊地の浚渫事業を推進しています。

整備効果

船舶の安定運航が確保されることにより、物流・人流を支え地域経済活動の維持・発展を支援します。



新潟港海岸 西海岸地区 海岸保全施設整備事業の推進

にいがた にいがた 新潟県新潟市

H28事業費 1.110百万円

事業の概要

新潟港海岸西海岸地区は、日本海側特有の冬季風浪等の影響を受ける日本有数の侵食海岸であり 離岸堤と護岸による侵食対策工事が行われてきました。しかし、これらの施設の機能維持には継続 的な対策が必要となること及び老朽化による施設の倒壊や越波被害の危険性が高いことから、恒久 的な対策として海岸地形の安定と広い静穏水域を創出し、防護に加えて景観・親水空間にも配慮し た面的防護工法による海岸整備を推進しています。

整備効果

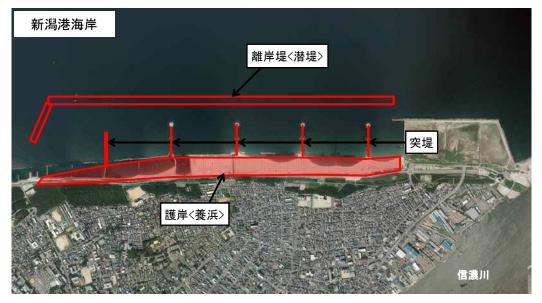
面的防護工法による抜本的な侵食対策を行うことにより、失われた砂浜の復元と背後地域の安全 を確保します。

平成28年度の事業内容

離岸堤〈潜堤〉、突堤、護岸〈養浜〉の整備を推進します。







新潟空港 滑走路(耐震)事業の推進

にいがた にいがた 新潟県新潟市

H28事業費 1,582百万円

事業の概要

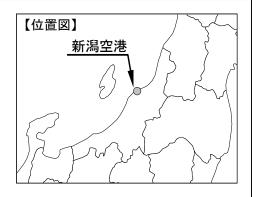
新潟空港は、大規模地震時における航空ネットワークの維持、背後圏経済活動の継続性の確保及 び緊急物資・人員等の輸送基地としての役割が求められており、滑走路については大規模地震時の 地盤の液状化により大きな被害が想定されることから、滑走路の耐震化を推進しています。

整備効果

滑走路の地盤改良による耐震対策を行うことで、被害を最小限に抑制し、被災後の早期供用が可 能となります。

平成28年度の事業内容

B滑走路直下の地盤改良を実施します。





国営越後丘陵公園の整備推進

新潟県養岡市

H28事業費 1,169百万円

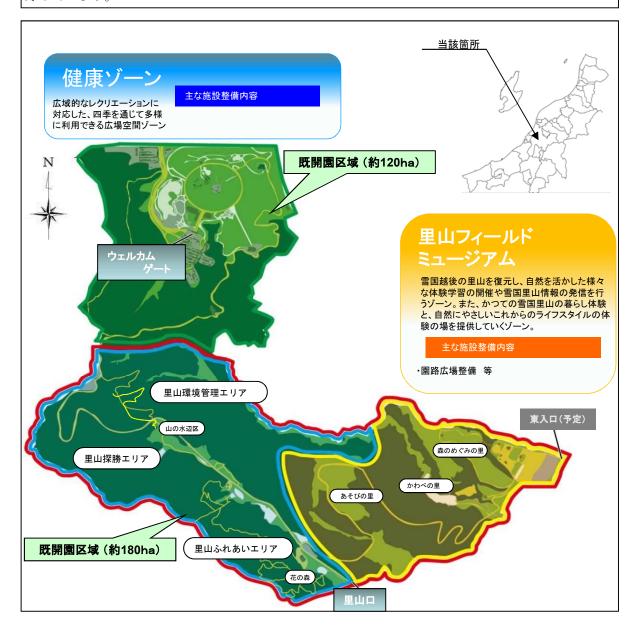
事業の概要

国営越後丘陵公園は、本州日本海側で唯一の国営公園です。雪国の特性に配慮し恵まれた自然環境や交通条件のもと「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」を基本テーマに、自然環境を保全しつつ広域的レクリエーションや文化活動への対応を図るべく整備を進めています。

整備効果

平成10年7月の開園 (29ha) 以来、平成15年度までに「健康ゾーン」(約120ha) を全面開園し、平成24年4月までに「里山フィールドミュージアム」の一部(全体約280haの内、西側部分約180ha) を開園しています。

平成10年の開園から入園者数は年々増加しており、平成25年度は過去最高の54万3千9百人を記録するとともに、平成27年2月末現在で約51万人が入園し、4年連続で50万人を超える入園者数を記録しています。



佐渡海上保安署整備事業に本格着手

お湯県佐渡市

H28事業費 48百万円

事業の概要

佐渡海上保安署は、築後51年が経過し老朽化が著しいこと、耐震性能が不足していることに加え、現敷地は新潟県の津波想定浸水深が $3\sim5$ mの地域に位置しており、津波により災害時における応急対策活動に支障をきたすおそれがあります。また、業務量の増大や業務体制強化により庁舎の狭あい化が進行し、留置場及び検視施設は警察施設を借用せざるを得ない等、業務に支障をきたしていることから、両津港北埠頭地区内の新敷地に移転整備するものです。

整備効果

佐渡海上保安署が行う警備救難業務や災害時の活動拠点施設としての機能を確保するとともに、 津波避難ビル機能を備えた施設として整備することにより、両津港周辺地区及び周辺海域における 防災機能の向上を図ります。

また、北埠頭地区周辺の景観形成に配慮した外観デザインとすることにより、佐渡市が行っている当地区を中心としたまちづくりへの貢献を目指します。

平成28年度の事業内容

平成28年度は、佐渡海上保安署の躯体工事に着手します。

「佐渡海上保安署の概要」

所 在 地:新潟県佐渡市両津夷1番地

構 造:鉄筋コンクリート造

階 数:地上3階建て

延床面積:966㎡ (庁舎・ピロティを含む)

完成予定:平成29年度末





柿川床上浸水対策特別緊急事業の完成(補助)

お湯県長岡市

H28事業費 2,870百万円

事業の概要

平成23年7月新潟・福島豪雨により、信濃川水系柿川流域の長岡市において、家屋浸水被害が発生しました。このため、浸水被害の軽減等、再度災害の防止を目的として、放水路の整備を行います。

整備効果

放水路の整備を行うことにより、信濃川水系柿川流域の治水安全度の向上が図られます。

平成28年度の事業内容

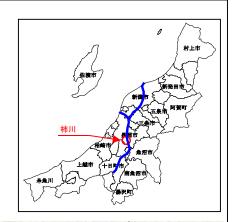
平成23年7月新潟・福島豪雨に対応するため、

せんざい さいわいちょう ・長岡市千歳地区、幸町地区において放水路の整備を

促進し、事業の完成を 予定しています。



①H23. 7. 30浸水状況





十二沢川床上浸水対策特別緊急事業の促進(補助)

にいがた みなみうおぬま 新潟県南魚沼市

H28事業費 698百万円

事業の概要

平成23年7月新潟・福島豪雨により、信濃川水系十二沢川流域の南魚沼市において、家屋浸水被害が発生しました。このため、浸水被害の軽減等、再度災害の防止を目的として、河道掘削等を行い流下断面を確保します。

整備効果

河道掘削等を行うことにより、信濃川水系十二沢川流域の治水安全度の向上が図られます。

平成28年度の事業内容

平成23年7月新潟・福島豪雨に対応するため、 むいかまち

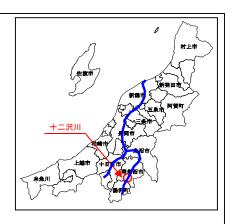
・南魚沼市六日町地区において、橋梁架替を促進します。

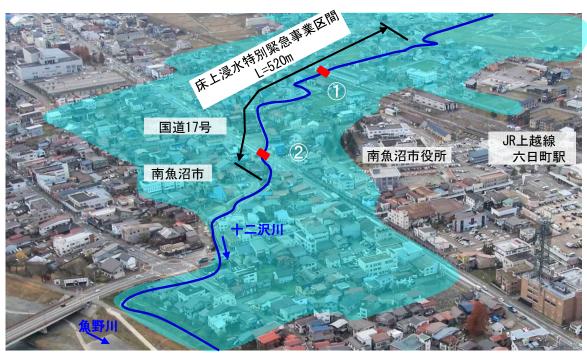


① H23. 7浸水状況



②H23. 7浸水状況





胎内川総合開発事業の促進(補助)

お潟県胎内市

H28事業費 2,177百万円

事業の概要

おくたいない

胎内川総合開発事業は、奥胎内ダムを新たに建設するとともに、既設の胎内川ダムの改築を行う 事業です。事業の目的としては、2つのダムの連携による「洪水調節」、「流水の正常な機能の維持」、及び「水道用水の供給」と、奥胎内ダムにおいては「発電」を目的とした多目的ダム建設事業です。

整備効果

奥胎内ダム地点において毎秒380m3、胎内川ダム地点において毎秒490m3の洪水調節を行い、流域の洪水被害の軽減を図ります。

また、奥胎内ダムと胎内川ダムとの相互運用により、流水の正常な機能の維持、水道用水の供給を図るとともに、奥胎内ダムにおいて、最大2,600kWの発電が可能となります。

平成28年度の事業内容

平成28年度は、ダム本体工事、管理設備工事等を実施します。



奥胎内ダム完成予想図





航空写真(下流よりダムサイトを望む 平成27年12月撮影)

鵜川ダム建設事業の促進(補助)

お湯県柏崎市

H28事業費 1,054百万円

事業の概要

鵜川ダム建設事業は、ダム下流域の柏崎市の洪水被害の軽減を図るための「洪水調節」、及び 「流水の正常な機能の維持」を目的としたダム建設事業です。

整備効果

ダム地点において毎秒110m3の洪水調節を行い、流域の洪水被害の軽減を図ります。 また、流水の正常な機能の維持を図ります。

平成28年度の事業内容

平成28年度は、ダム本体工事、地質解析検討等を実施します。



日本海 新潟県 新潟県 福島県 番山県 乗馬県

鵜川ダム完成予想図



航空写真 (上流よりダムサイトを望む 平成27年11月撮影)

[地域高規格道路 上越魚沼地域振興快速道路]

国道253号 三和安塚道路事業の推進

お湯県上越市

H28事業費 800百万円

事業の概要

きんかやすづか 三和安塚道路は、国道253号の上越市三和区広田から同市安塚区松崎間の延長約9.4kmにお いて、「上越魚沼地域振興快速道路」の一部を構成するとともに、現道の狭小幅員の解消、線形不 良区間を迂回し、物流の効率化及び地域間交流の支援を図る事業です。

整備効果

- ・北陸新幹線駅(上越妙高駅)及び重要港湾(直江津港)へのアクセス向上
- ・日常活動圏中心都市 (上越市) へのアクセス向上
- ・主要な観光地(雪だるま温泉等)へのアクセス向上
- ・緊急救命施設(県立中央病院)へのアクセス向上

平成28年度の事業内容

平成28年度は、三和区広田から浦川原区山本間 の延長約4.7㎞における道路改良工事、設計、用 地買収を推進します。





ながおかとうざい [地域高規格道路 長岡東西道路]

ながおかとうざい

国道404号 長岡東西道路事業の推進

にいがた ながおか

新潟県 長岡市

H28事業費 460百万円

事業の概要

よがおかとうざい ながおか かなめちょう

ながおか

長岡東西道路は、長岡市要町から同市西津町間の延長約3.3kmにおいて、長岡市街地の交通混雑の解消を図るとともとに、長岡市中心市街地と長岡ニュータウン等の開発拠点との連携強化及び物流の効率化を目的とした事業です。

整備効果

なのがわ ながま

- ・信濃川にて分断されている長岡市街地の交通渋滞の緩和
- ・開発拠点(西部丘陵東地区等)、観光地(国営越後丘陵公園等)へのアクセス向上
- ・緊急救命施設(長岡赤十字病院等)へのアクセス向上

平成28年度の事業内容

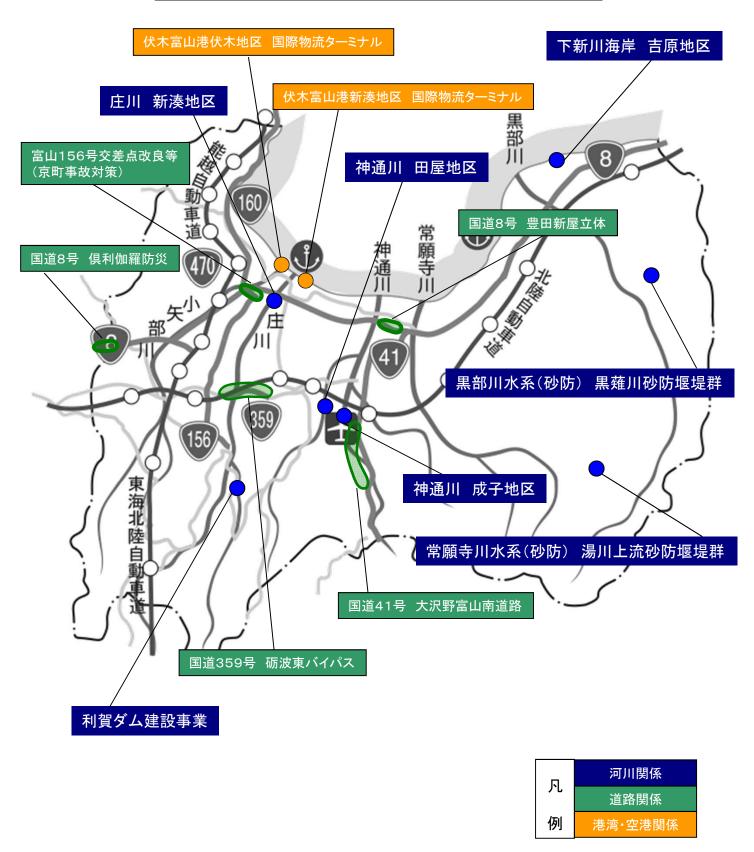
ながおか にしみやうち おおみや

平成28年度は、長岡市西宮内から同市大宮町間の延長約0.8kmにおける橋梁工事及び道路改良工事を推進します。

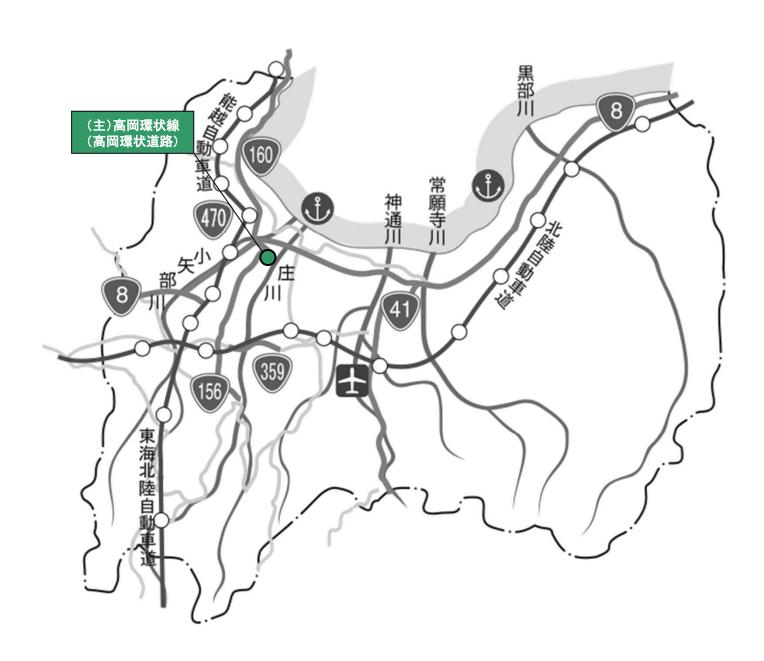




富山県内の主要事業(直轄)



富山県内の主要事業(補助)



〔凡例〕

道路関係

神通川 堤防整備の推進

富山県富山市(田屋地区)

H28事業費 984百万円※

※神通川河川改修事業のH28全体事業費

事業の概要

神通川支川井田川とその支川の合場川が合流する富山市田屋地区では、堤防の高さが不足しているため、洪水時には氾濫の恐れがあります。

沿川では近年宅地化が進んでおり、洪水による被害は甚大となることから、平成25年度より井田川と合場川との合流点処理事業として堤防整備等を進めています。

平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」※の取組における「洪水を安全に流すためのハード対策」の一環として、堤防整備を行うものです。

整備効果

堤防整備を行うことにより、一連区間で洪水に対する安全性が向上します。



- ※「水防災意識社会 再構築ビジョン」
- ➤ 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について~社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて~」が答申されました。
- ➤ 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、 全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- ➤ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

上げ 堤防整備の推進

富山県射水市 (新湊地区)

H28事業費 805百万円※

※庄川河川改修事業のH28全体事業費

事業の概要

庄川右岸の射水市新湊地区では、堤防の高さ及び断面が不足しており、洪水により堤防が決壊した場合、氾濫による影響が広範囲に及び、甚大な被害が発生する危険性があります。

平成16年10月洪水では、庄川で戦後最大流量を記録し、高岡市、新湊市(現射水市)、大門町(現射水市)において避難勧告が発令されるなど危険な状態となったことから、平成22年度より、新湊地区において堤防整備等を進めています。

平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」※の取組における「洪水を安全に流すためのハード対策」の一環として、堤防整備を行うものです。

整備効果

堤防整備を行うことにより、一連区間で洪水に対する安全性が向上します。



- ※「水防災意識社会 再構築ビジョン」
- ▶ 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について〜社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて〜」が答申されました。
- ➤ 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、 全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- ➤ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

神通川 自然再生事業の推進(成立地区)

富山県富山市

H28事業費 114百万円※

※神通川水系の総合水系環境整備事業の全体事業費

事業の概要

神通川では治水、利水事業の進捗とともに多様な生物が生息する河川環境が減少しており、特に 神通川の代表的な魚類であるサクラマスの漁獲量が激減し、絶滅の危機に瀕しています。

サクラマスは一生のうちの多くを河川で過ごし、かつ上流から下流までの様々な場所を利用する ため、河川の健全度を測るよい指標になります。つまりサクラマスの生息環境を再生することで他 の魚類にとってもよい生息環境の向上が期待できます。本事業では遡上したサクラマスのすみかと なる淵の再生、産卵地や稚魚のすみかとなる人工水路の造成等を進めることでサクラマスの生息環 境を再生します。

整備効果

サクラマスの生息環境を再生することで、サクラマスだけでなく他の魚類にとっても生息環境の 向上が期待できます。また、サクラマスを使った「ます寿司」は地域の名産品であり、サクラマス の漁獲量が増えることで地域活性化に寄与します。

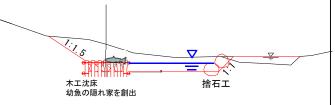
平成28年度の事業内容

成子地区において越冬場所(サクラマス 幼魚の生息場及び産卵場) の再生を推進し ます。

越冬場所整備(幼魚生息生息場)







サクラマス幼魚が海に降海するまでの間、大きな石や木工沈床な どを設置して、穏やかな流れや隠れ家(水中カバー)となる場を創 出します。



水中カバーとなっている木工沈床 (H24整備済みの越冬筒所)



礫下に潜むサクラマス幼魚





ます寿司

利賀ダム建設事業

とやま なんと 富山県南砺市

H28事業費 1,816百万円

事業の概要

庄川は、これまで幾度も洪水が発生し甚大な被害が発生しています。また、発電、かんがい、工業用水などの水源として広く利用されていますが、しばしば渇水の被害が発生しています。

そのため、庄川の支川である利賀川に、「洪水調節」、「流水の正常な機能の維持」、「工業用水」を目的とした多目的ダムである利賀ダムの建設を、平成5年度より進めています。

○目 的 ・洪水調節 (庄川の洪水防御 (富山県の5市))

・流水の正常な機能の維持

・工業用水の供給(富山県企業局:8,640m3/日(0.1m³/s))

○諸 元 堤高:112m、総貯水容量:3,110万m³

○経 緯 平成元年度 実施計画調査着手

平成5年度 建設事業着手

その他

○検証対象ダム(生活再建工事)

平成28年度の事業内容

生活関連道路工事、水理水文調査 等を実施する予定です。



庄川橋梁上部工 工事状況 (平成27年11月撮影)



じょうがん じ がわ

ゆ かわじょうりゅうさ ぼう えん てい ぐん

常願寺川水系直轄砂防事業(湯川上流砂防堰堤群)の推進

富山県富山市、中新川郡立山町 H28事業費 460百万円

事業の概要

こんびやま

常願寺川流域は、脆弱な火山噴出物と、約150年前(安政5年)に発生した大地震により鳶山の崩壊土砂が、上流域に不安定な状態で堆積しており、大規模な出水が発生した際は、富山平野の沿川地域に甚大な被害が発生することが懸念されます。

荒廃が著しい立山カルデラからの土砂流出を抑制するために、湯川上流砂防堰堤群の整備を推進します。

整備効果

下流に広がる富山平野をはじめとする常願寺川流域の土砂災害に対する安全度が向上します。

平成28年度の事業内容

ありみね

あしくらじ

富山市有峰地区、立山町芦峅寺地区において、 砂防堰堤群の整備を推進します。









荒廃著しく土砂流出が 顕著な湯川上流域

くろ なぎ がわ さ ぼう えん てい ぐん

位置図

黒部川水系直轄砂防事業(黒薙川砂防堰堤群)の推進

と やま くろ ベ **富山県黒部市**

H28事業費 181百万円

事業の概要

黒部川流域は、急峻な地形や脆弱な地質による崩壊の多発地帯であり、急流河川、多雨・多雪の 気候条件と相まって、大量の土砂が流出しやすい条件を有しています。特に黒薙川上流には、深層 崩壊の危険度が高い小流域が多数存在することや源流部は荒廃が著しく、平成7年7月の豪雨災害 では上流の崩壊地から流出した土砂により沿川の発電施設や観光関連施設が被災するなど甚大な災 害が発生しています。

沿川の地域及び地域経済を担う上流域の観光資源や公益施設等を土砂災害から守るために、土砂 災害対策を推進します。

整備効果

砂防堰堤群の整備により土砂流出を抑制し、黒部川流域の土砂災害に対する安全度が向上します。

平成28年度の事業内容

黒部市宇奈月町地区において、砂防堰堤群の整備を



下新川海岸 越波・浸水対策の整備推進(吉原地区)

富山県下新川郡入善町 H28事業費 1,691百万円※

※下新川海岸直轄海岸保全施設整備事業のH28全体事業費

事業の概要

下新川海岸は、富山湾特有の「寄り回り波」や「冬期風浪」といった高波浪の影響で越波や海岸侵食の被害が生じており、平成20年2月24日の高波被害では、直立堤や離岸堤等の海岸保全施設が被災し、越波により背後地の家屋に浸水被害が発生しました。

このため、離岸堤、副離岸堤等の海岸保全施設を整備することにより、背後の住宅等を越波、浸水から守ります。

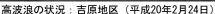
整備効果

海岸保全施設の整備により、冬期の高波浪による越波・浸水被害が防止されます。

平成28年度の事業内容

入善町吉原地区において、家屋連担地区の副離岸堤の整備を推進します。









国道8号 倶利伽羅防災事業の新規事業化

とやま おゃべ いしかわ かほく つばたまち 富山県小矢部市〜石川県河北郡津幡町 H28事業費 50百万円

事業の概要

倶利伽羅防災は、一般国道8号の事前通行規制区間(連続雨量180mm)の解消及びトンネルの幅員狭小による事故危険区間の解消を目的とした、富山県小英部市から石川県河北郡津幡町に至る延長約3.0kmの事業です。

整備効果

- ・事前通行規制区間、地すべり指定地等の回避により、信頼性の高い幹線ネットワークを確保
- ・狭小断面トンネル、歩道未整備が解消され、安全・安心な道路空間を確保
- ・トンネルの維持補修等に伴う通行規制回数が減少し、渋滞による社会損失が減少

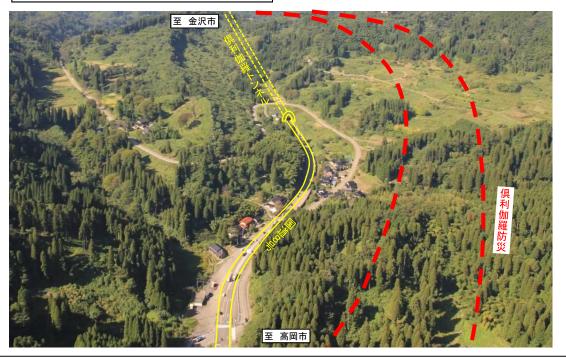
平成28年度の事業内容

平成28年度より、測量及び道路設計に着手します。



H25.8豪雨による斜面崩落の状況





した。 「地域高規格道路 富山外郭環状道路」

国道8号 豊田新屋立体事業の推進

とゃま とゃま **富山県富山市**

H28事業費 2,450百万円

事業の概要

豊田新屋立体は、地域高規格道路「富山外郭環状道路」の一部を形成し、富山市内の国道8号の 交通混雑の緩和、交通事故の低減、幹線ネットワークの強化を目的とした、富山市小西から 同市製島町に至る延長約2.9kmの交差点立体化事業です。

整備効果

- ・交通渋滞の解消
- ・ 死傷事故の削減
- ・幹線ネットワークの強化

平成28年度の事業内容

平成28年度は、用地買収等を推進します。







とや またかやま **[地域高規格道路 富山高山連絡道路**]

大沢野富山南道路事業の推進 国道41号

とゃま とゃま **富山県富山市**

H28事業費 500百万円

事業の概要

大沢野富山南道路は、地域高規格道路「富山高山連絡道路」の一部を構成し、国道41号の交通 混雑の緩和、医薬品製造業等の地域の産業を支える物流の信頼性向上を目的とした、富山市楡原か ら同市栗山に至る延長約12.0kmの事業です。

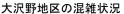
整備効果

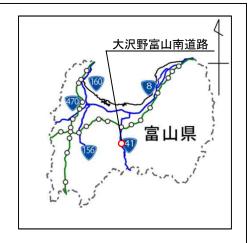
- ・交通混雑の緩和、交通事故の減少
- ・物流の信頼性向上

平成28年度の事業内容

平成28年度は、道路設計、構造物設計、地質調査 を推進します。









国道359号 砺波東バイパス事業の推進

となった。 **富山県砺波市**

H28事業費 730百万円

事業の概要

砺波東バイパスは、一般国道359号の道路幅員狭小による除雪障害を解消し、冬期間における 交通の確保及び交通安全の確保を目的とした、砺波市芹谷から同市高道に至る延長約6.1kmの 事業です。

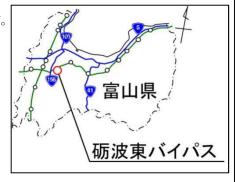
整備効果

- ・災害に強い幹線道路ネットワークの形成
- ・急カーブ区間及び冬期路肩堆雪による交通障害の解消

平成28年度の事業内容

平成28年度は、改良工事、橋梁下部工事等を推進します。







富山 156号交差点改良等 (京町事故対策事業)の推進

H28事業費 123百万円

事業の概要

当該箇所は、高岡市の中心部に位置し、近傍には小学校・高等学校等があり、交安法第3条に基づく通学路およびあんしん歩行エリアに指定されていますが、歩道が狭い区間があり、歩行者と自転車が錯綜しており、通学児童等歩行者の安全が確保されていません。このため、事故危険区間及び通学路緊急合同点検の要対策箇所とされており、早急な対策が求められています。

本事業は、本線幅員構成の見直しによる安全・安心な歩行空間の確保と電線共同溝整備により 災害時における都市防災機能の向上を図るものです。

整備効果

・安全、安心な通行空間の確保

平成28年度の事業内容

平成28年度は、引き続き歩道整備(電線共同溝含む)の整備を推進します。







ふしきとやま ふしき

伏木富山港 伏木地区 国際物流ターミナル整備事業の推進

とゃま たかおか 富山県高岡市

H28事業費 100百万円

事業の概要

伏木富山港は日本海沿岸のほぼ中央に位置し、伏木地区、新湊地区、富山地区の3地区からなっており、高岡、射水、富山の広域都市圏を背後に擁し、富山県の政治、経済、文化の枢要地に近接する港湾であり、北陸地方の物流拠点として重要な役割を担っています。

伏木地区においては大規模地震時の緊急物資輸送の拠点確保の対応が求められていることから、 海上から緊急物資を搬入するための耐震強化岸壁の整備を推進しています。

整備効果

物流機能の向上とともに、大規模地震時の海上からの緊急物資輸送確保を図り、地域の安全・安心の確保及び経済活動を支援します。

平成28年度の事業内容

岸壁の整備事業を推進します。

【位置図】



ふしきとやま しんみなと

伏木富山港 新湊地区 国際物流ターミナル整備事業の推進

富山県射水市

H28事業費 876百万円

事業の概要

伏木富山港は日本海沿岸のほぼ中央に位置し、伏木地区、新湊地区、富山地区の3地区からなっており、高岡、射水、富山の広域都市圏を背後に擁し、富山県の政治、経済、文化の枢要地に近接する港湾であり、北陸地方の物流拠点として極めて重要な役割を担っています。

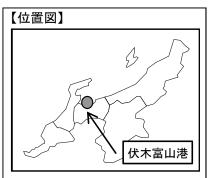
新湊地区においては港湾関連貨物の円滑化および効率化への対応が求められていることから、臨 港道路、岸壁、泊地の整備を推進しています。

整備効果

臨港道路と国際物流ターミナルを一体的に整備することにより、新湊地区全体の物流の効率化を 図り、地域経済の発展を支援します。

平成28年度の事業内容

臨港道路、岸壁、泊地の整備事業を推進します。





たか おか [地域高規格道路 高岡環状道路]

(主)高岡環状線事業の推進

とでましたかまか 富山県高岡市

H28事業費 200百万円

事業の概要

主要地方道窩崗環状線は、篙闘市内の環状道路である地域高規格道路「篙崗環状道路」の一部を 形成するとともに、能越自動車道高岡 I Cへ連絡する重要な路線です。

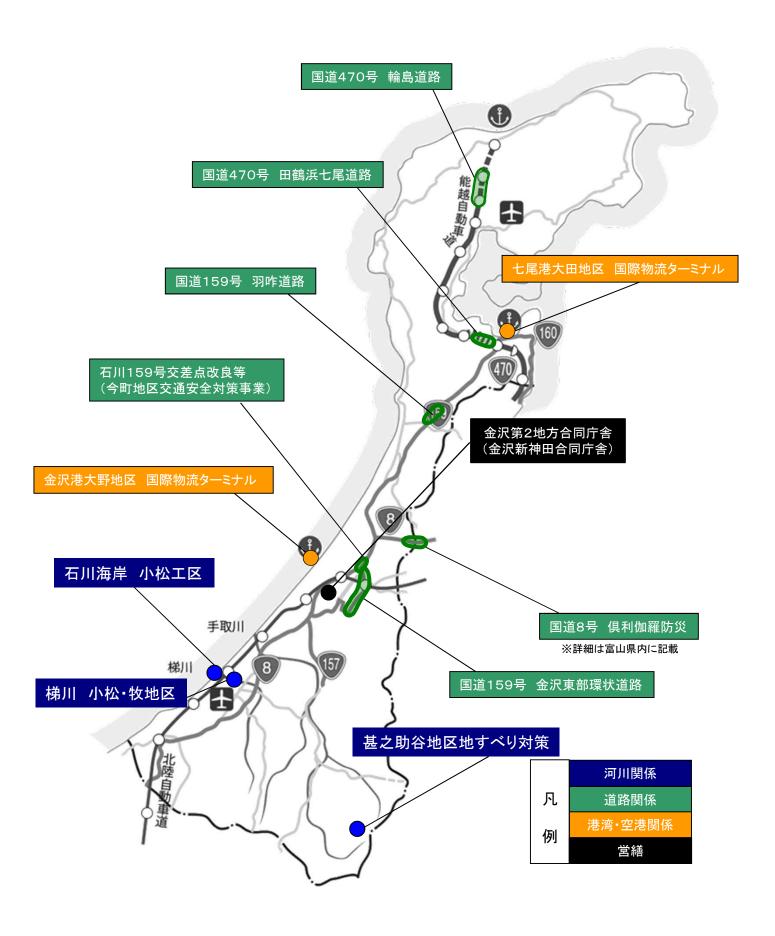
能越自動車道高岡 I Cから北陸新幹線新高岡駅へのアクセス向上により広域交通の活性化に寄与するとともに、高岡市内の渋滞緩和による物流の効率化にも寄与することを目的とした、延長2.6 kmの道路です。

整備効果

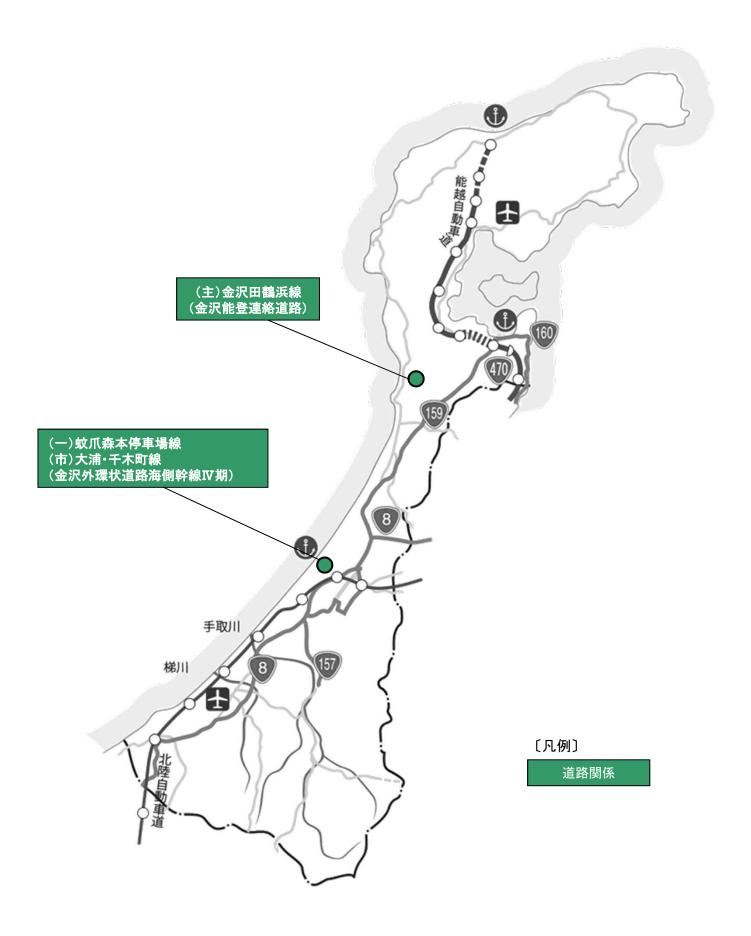
- ・ 交通渋滞の緩和、交通事故の減少
- ・地域観光・経済の活性化



石川県内の主要事業(直轄)



石川県内の主要事業(補助)



梯川 分水路の整備

エリー こまっ こまっ まき **石川県小松市(小松・牧地区**)

H28事業費 2,403百万円※

※梯川河川改修事業(都市基盤整備事業含む)のH28全体事業費

事業の概要

梯川は小松市中心市街地を貫流する河川であり、背後には人口、資産等が集中していますが、流下能力が不足しており、洪水による堤防決壊の恐れがあることから、下流部より順次整備を進めています。このうち、小松市小松・牧地区では、小松天満宮(国指定重要文化財)を現位置に保全する分水路方式による整備を行っており、小松大橋架替事業(石川県)、まちづくり事業(小松市)と調整を図りながら事業を進めています。

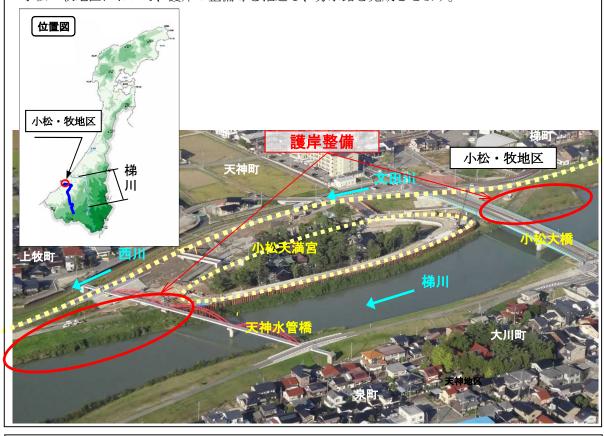
堤防決壊による浸水被害を防止するため、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」※の取組における「洪水を安全に流すためのハード対策」の一環として、分水路の整備を行います。

整備効果

分水路の完成により、小松市中心市街地の治水安全度が向上します。

平成28年度の事業内容

小松・牧地区において、護岸の整備等を推進し、分水路を完成させます。



- ※「水防災意識社会 再構築ビジョン」
- ➤ 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について~社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて~」が答申されました。
- ▶ 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- ▶ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

じん の すけだに

甚之助谷地区直轄地すべり対策事業の推進

にしかわ はくさん 一石川県白山市

H28事業費 544百万円

事業の概要

甚之助谷地すべりは、手取川の源流で大規模な地すべりで、現在も年間10cmを超える移動を観測しています。昭和9年7月11日の手取川大水害時には別当谷で地すべり性の崩壊に伴い天然ダムが形成され、その決壊により下流の白峰村(現在、白山市白峰)などに死者・行方不明者112名という未曾有の被害をもたらしています。

土砂災害を防止を目的として、甚之助谷地すべりの移動を抑制するために集水ボーリング、集水井、排水トンネルなどの地すべり対策を実施します。

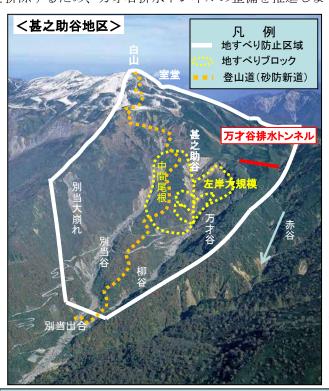
整備効果

大規模な地すべりに起因する大量の土砂流出を抑制し、手取川流域の土砂災害に対する安全度が向上するとともに、年間5万人の登山客が訪れる白山へのアクセス道の保全が図られます。

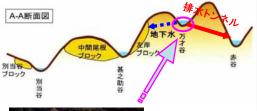
平成28年度の事業内容

しらみね

自山市白峰地区において、地すべりの原因となる地下水 ***
を排除するため、万才谷排水トンネルの整備を推進します。







万才谷の河床

昭和9年手取川大水 災害時の白峰村風嵐 の様子



万才谷河床にある亀 裂から、流水が地下 へ浸透し、左岸地す ベリブロックの不安 定化の要因となって います。

石川海岸 侵食・越波対策の推進(小松工区)

石川県小松市

H28事業費 807百万円※

※石川海岸直轄海岸保全施設整備事業のH28全体事業費

事業の概要

石川海岸小松工区は、侵食が著しく、毎年のように護岸等の被災を受けています。近年は海岸沿いの砂丘地も工場地帯や住宅地として発展が著しく、高波による越波被害が発生すれば地域経済や雇用に大きな影響を与える恐れがあります。

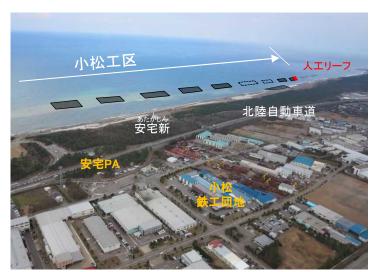
そのため、平成16年度から直轄海岸保全施設整備事業に着手し、抜本的な保全対策を推進しています。

整備効果

近年、堤防の倒壊が頻発している小松工区で人工リーフ整備及び養浜を推進することにより、背後地の小松市街地や北陸自動車道等を侵食や越波による被害から守り、安全度が向上します。

平成28年度の事業内容

小松市小松工区において、人工リーフの整備、養浜を推進します。







冬季風浪状況(小松工区:平成27年12月)



施設被災状況(小松市安宅地先:平成24年12月)

のうえつ [**能越自動車道**]

国道470号田鶴浜七尾道路事業の新規事業化

ゴルット なな お **石川県七尾市**

H28事業費 100百万円

事業の概要

整備効果

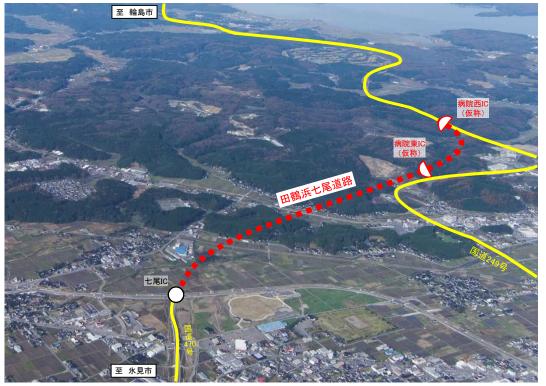
- ・能登地域への観光振興、企業活動を支援
- ・七尾市街地部の通過交通の排除により、安全・安心な地域の形成

平成28年度の事業内容

平成28年度より、測量及び道路設計に着手します。







いしかわ

石川159号交差点改良等 (今町地区交通安全対策事業) の新規事業化

H28事業費 15百万円

事業の概要

事業の概要当該箇所は、国道159号金沢東部環状道路が国道8号に接続する箇所ですが、津幡方面は今町ICに出口がなく、学田方面に向かう車は、手前の今町ハーフICを降り、歩道のない狭い生活道 路を通過しています。 はくさん また、国道8号で津幡町から白山市方面へ向かう車は、朝夕の国道の混雑を避けるため、今町 I

Cの出口を降り、生活道路を通過し今町ハーフICへ流れています。この生活道路周辺には小学校 があり、通学児童や歩行者・自転車にとって非常に危険な状況となっています。

本事業は、今町ICへの出口設置及び、今町ランプ部への付加車線整備により、生活道路の通過 車両を国道に誘導し、並行する生活道路の安全・安心を確保するものです。

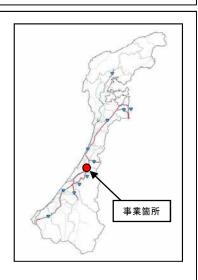
整備効果

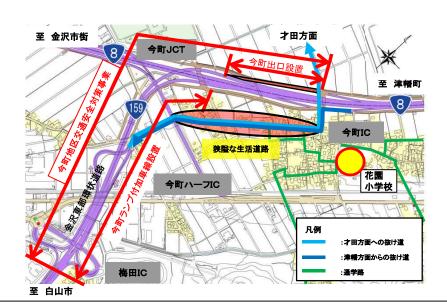
・安全・安心な生活道路の確保

平成28年度の事業内容

平成28年度に新規事業化を行い、測量・道路設計を 実施します。







のうえつ [**能越自動車道**]

国道470号輪島道路事業の推進

H28事業費 2,240百万円

事業の概要

輪島道路は、高規格幹線道路能越自動車道の一部を構成し、災害時の緊急輸送路と速達性の確保、 高速ネットワーク形成による第三次医療施設へのアクセス性の向上を目的とした、輪島市三井町 本江から同市同町洲衛に至る約4.7kmの事業です。

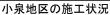
整備効果

- ・ 高規格幹線道路網の形成
- ・災害に強いネットワークの形成
- ・第三次医療施設へのアクセス向上
- ・アクセス時間の短縮による地域の発展・観光の活性化 など

平成28年度の事業内容

平成28年度は、改良工事、橋梁上下部工事等を推進 します。









かなざわそと [地域高規格道路 金沢外環状道路]

国道159号 金沢東部環状道路事業の推進

いしかわ かなざわ 石川県金沢市

H28事業費 3,340百万円

事業の概要

金沢東部環状道路は、地域高規格道路金沢外環状道路の一部を構成し、金沢市中心部における 交通混雑の緩和を図るとともに、北陸自動車道やのと里山海道とあわせて、広域的な道路ネット ワークの形成を目的とした、延長約9.4kmの道路です。

整備効果

- ・ 金沢市中心部の交通渋滞の緩和
- ・広域的な幹線道路ネットワークの形成
- ・中心部における通過交通の排除

平成28年度の事業内容

平成28年度は、トンネル工事等を推進します。



神谷内トンネル(Ⅱ期)の施工状況





国道159号 羽咋道路事業の推進

いしかわ はくい 石川県羽咋市、宝達志水町

H28事業費 250百万円

事業の概要

羽咋道路は、一般国道159号の一部を形成し、現道部の渋滞・事故の低減、及びのと里山海道 へのアクセス向上等を目的とした、羽咋市四柳町から宝達志水町二口に至る延長約6.7kmの 事業です。

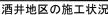
整備効果

- ・交通渋滞の緩和
- ・交通事故の減少および歩行者・自転車通行の安全性の向上

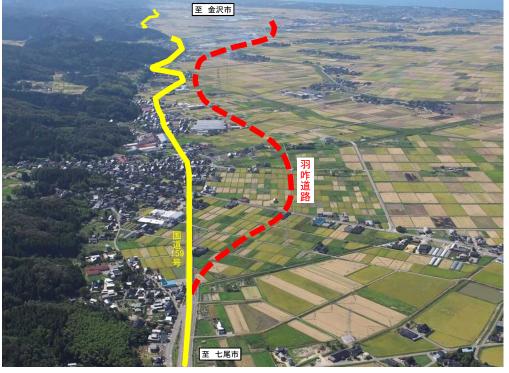
平成28年度の事業内容

平成28年度は、用地買収、改良工事等を推進します。









かなざわ おおの

金沢港 大野地区 国際物流ターミナル整備事業の推進

石川県金沢市

H28事業費 852百万円

事業の概要

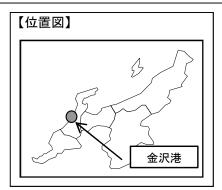
金沢港は、金沢市・小松市を背後圏とする加賀地方の経済・産業の拠点となっています。近年は 企業の進出、外貿コンテナ定期航路の拡充や建設機械等の多方面への輸出など地域産業の国際競争 力強化を支える港湾としての役割が高まっています。船舶の大型化に対応し、ターミナル機能を強 化するため、航路の整備を推進しています。

整備効果

ターミナルの整備に伴い大型船の入港が可能となり、物流の効率化によるコスト縮減が図られ、 金沢港背後地域のさらなる国際競争力の強化を推進し、地域経済の発展を支援します。

平成28年度の事業内容

航路の整備事業を推進します。





七尾港 大田地区 国際物流ターミナル整備事業の推進

いしかわ ななお 石川県七尾市

H28事業費 160百万円

事業の概要

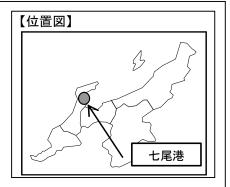
七尾港は、能登半島中央東部の七尾湾に位置し、能登島を天然の防波堤として古くから栄えた港 で、木材流通加工基地、エネルギー基地として発展してきました。近年の木材運搬船の大型化によ る基盤整備・拡充が求められており、船舶の大型化に対応するため、泊地の整備を推進しています。

整備効果

ターミナルの整備に伴い大型船舶が入港可能となり、海上輸送費用が削減されることで、地域産 業の国際競争力強化を図り、地域経済の発展を支援します。

平成28年度の事業内容

泊地の整備事業を推進します。





官庁施設の老朽化対策

いしかわ かなざわ 石川県金沢市

H28事業費 215百万円

事業の概要

金沢第2地方合同庁舎(金沢新神田合同庁舎)は、建設後36年経過し、外壁タイルの落下、外部建具の劣化に伴う開閉不良や脱落の危険性等の不具合が生じていることから、改修工事を実施します。

整備効果

施設の危険箇所、経年劣化が著しい部分を早急に解消し、施設利用者の安全を確保します。

平成28年度の事業内容

平成28年度は、金沢第2地方合同庁舎(金沢新神田合同庁舎)の老朽化対策を実施します。

「金沢第2地方合同庁舎(金沢新神田合同庁舎)の概要」

入居官署:北陸財務局

財務総合政策研究所北陸研修支所

金沢国税不服審判所金沢地方法務局

北陸農政局土地改良技術事務所

金沢労働基準監督署金沢防衛事務所

自衛隊石川地方協力本部

所 在 地:石川県金沢市新神田4-3-10

築 年:1979年(築36年)

構 造:鉄骨鉄筋コンクリート造 階 数:地上8階、地下1階建て

延床面積:14,482㎡ (庁舎)

「主な改修内容」

庁舎の外壁改修、外部建具(窓)改修



【位置図】



外壁タイルの落下防止対策

外部建具の脱落防止対策



【庁舎外観写真】

[地域高規格道路 金沢外環状道路]

(一) 蚊爪森本停車場線事業

(市) 大浦・千木町線事業 の推進

石川県金沢市

H28事業費 900百万円

事業の概要

金沢外環状道路海側幹線は、山側幹線と一体となって、金沢都市圏の外郭を形成し、交通の円滑 化を図る極めて重要な幹線道路です。

化を図る極めて重要な幹線道路です。 一般県道蚊爪森本停車場線及び市道大浦・千木町線(金沢外環状道路海側幹線IV期)は、海側幹線の一部を構成し、金沢都市圏の渋滞緩和及び物流拠点間のアクセス向上、広域交流の促進等に寄与する道路であり、金沢市大河端町~千木町間2.5kmで事業を推進しています。

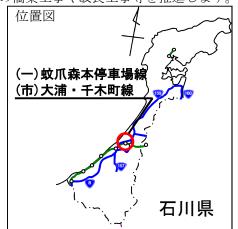
整備効果

- ・金沢都市圏の交通渋滞の緩和ならびに交通事故の低減
- ・重点港湾金沢港へのアクセス向上

平成28年度の事業内容

平成28年度は、金沢市大河端町~千木町間 (L=2.5km) の橋梁工事や改良工事等を推進します。





[地域高規格道路 金沢能登連絡道路] かなざわ たつるはま でないだ (主) 金沢田鶴浜線事業 (柳田IC〜上棚矢駄IC)

の推進

いしかわ はくい 石川県羽咋市〜羽咋郡志賀町

H28事業費 200百万円

事業の概要

・ヘンプス かなざわ たっる はま やないだ うわだな や だ 主要地方道金沢田鶴浜線の柳田IC〜上棚矢駄IC間は、地域高規格道路「金沢能登連絡道路」の-部を構成する区間であり、現道の交通混雑の緩和や広域交流の促進を目的とした、羽咋市柳田町か ら志賀町上棚に至る延長約9.6kmの事業です。

整備効果

- ・交通混雑の緩和
- 交通事故の減少
- 広域交流の促進

平成28年度の事業内容

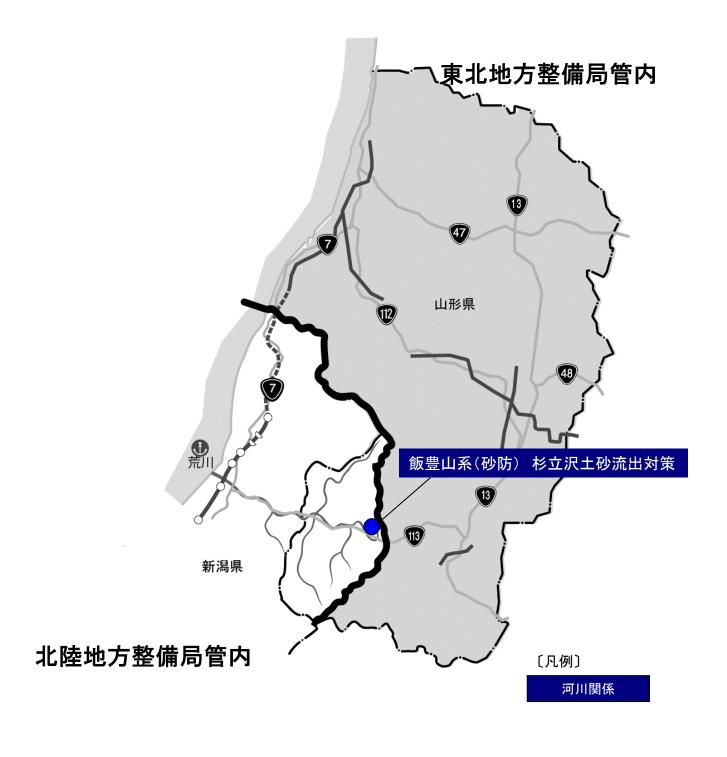
平成28年度は、引き続き、測量及び設計を進めると ともに、橋梁工事に着手します。







山形県内の主要事業



飯豊山系直轄砂防事業(杉立沢土砂流出対策)の推進

やまがた にしおきたま おぐに 山形県西置賜郡小国町

H28事業費 102百万円

事業の概要

飯豊山系(荒川流域)上流の杉立沢では、地すべり性の崩壊に伴い河道閉塞が生じています。今後の出水により土砂流出が発生した場合、直下流にある災害時緊急輸送道路(第1次)に位置づけられている国道113号やJR米坂線が被災し、甚大な被害が発生する恐れがあることから、土砂災害防止対策として砂防堰堤の整備を行うものです。

整備効果

砂防堰堤の整備により下流への土砂流出が防止され、荒川流域の土砂災害に対する安全度が向上します。



福島県内の主要事業



阿賀川 堤防整備の推進

かわぬま あいづばんげ みゃこ **福島県河沼郡会津坂下町(宮古地区)**

H28事業費 775百万円※

※阿賀川河川改修事業のH28全体事業費

事業の概要

阿賀川左岸の会津坂下町宮古地区では堤防の断面が不足しており、洪水により堤防が決壊した場合、氾濫による影響が会津坂下町を含む一帯に及び、甚大な被害が発生する危険性があります。 堤防決壊による浸水被害を防止するため、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」※の取組における「洪水を安全に流すためのハード対策」の一環として、堤防整備を行うものです。

整備効果

堤防整備を行うことで、堤防の強化が図られ、一連区間での洪水に対する安全性が向上します。



- ※「水防災意識社会 再構築ビジョン」
- ➤ 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について~社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて~」が答申されました。
- ➤ 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取組を行うこととなりました。
- ➤ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

たき さか

滝坂地区直轄地すべり対策事業の推進

福島県耶麻郡西会津町

H28事業費 685百万円

事業の概要

滝坂地すべりは、福島県西会津町の新潟県境近くに位置し、150haの面積を有する国内最大級の地すべりです。近年の本格的な動きは、明治21年頃から顕著となり、明治38年と昭和24年には 集落の人家が移転する事態が発生するほど大きな動きを見せています。

また、東北地方太平洋沖地震では、同地域において大きな揺れを観測しています。

地すべりの活動が活発化した場合、阿賀川の河道閉塞に伴う湛水により東北地方の復興に重要な 役割を担う国道49号を含め、西会津町、喜多方市等が広範囲かつ甚大な被害を受けるなど、下流 沿川地域も含めて広範囲に被害が想定されることから、重点的に地すべり対策を実施しています。

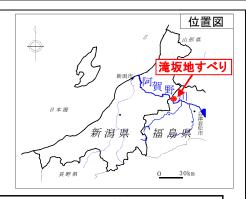
整備効果

地すべり対策事業の推進により、阿賀川の河道閉塞の危険性を低下させ、西会津町、喜多方市、新潟県阿賀町等の土砂災害に対する地域の安全度が向上します。

平成28年度の事業内容

とよす

耶麻郡西会津町豊洲地区において、排水トンネル工、 集水井等による地すべり対策を推進します。



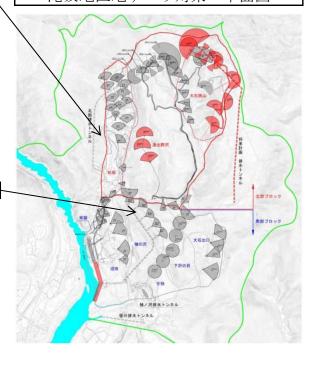
松坂地区 集水井施工状況



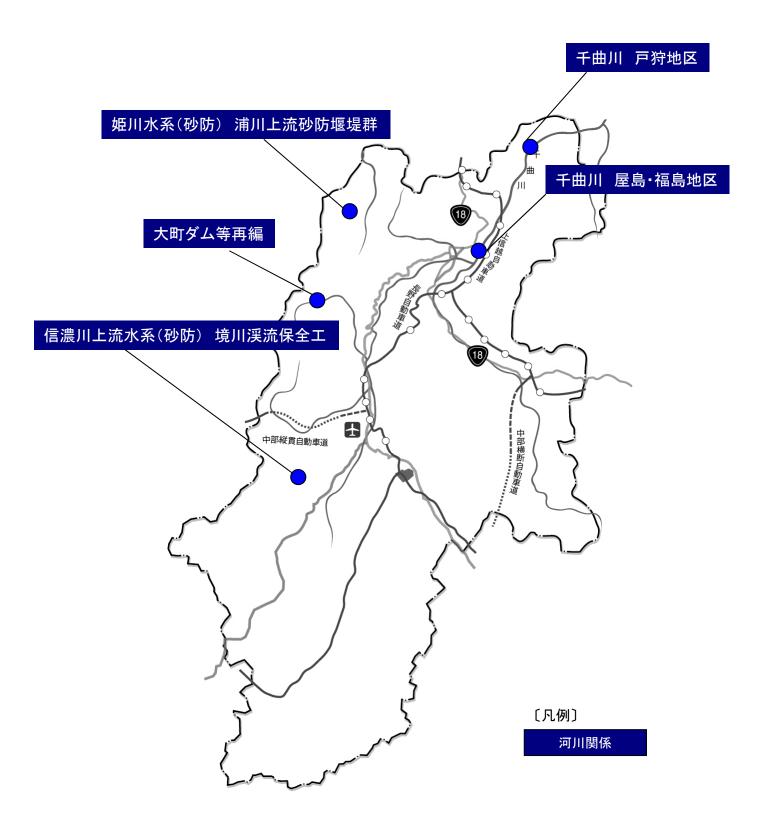
袖の沢地区 集水ボーリング 施工状況



滝坂地区地すべり対策 平面図



長野県内の主要事業



千曲川 河道掘削の推進 長野県飯山市 (戸狩地区)

H28事業費 1,477百万円※

※千曲川河川改修事業のH28全体事業費

事業の概要

千曲川直轄管理区間下流端に位置する飯山市戸狩地区は狭窄部となっており、洪水の安全な流下に必要な断面が不足しており、洪水時には水位上昇により計画高水位を超過し、堤防が決壊する危険性が生じています。昭和57年洪水、同58年洪水では堤防が決壊し、甚大な被害が発生しました。また、平成18年の洪水でも浸水被害が発生したことから、平成23年度より戸狩地区の河道掘削を実施しています。

また、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」※の取組における「洪水を安全に流すためのハード対策」の一環としても、引き続き河道掘削を推進します。

整備効果

河道掘削の実施により、洪水時の水位が低減され、洪水に対する安全性が向上します。

平成28年度の事業内容 戸狩地区で河道掘削を推進し、事業を完成させます。 付置図 河道掘削箇所 平面図 (戸狩地区) H18.7出水時 66 浸水筒所 横断図 平成19年5月撮影 河道掘削箇所 **VHWL** (戸狩地区) 直轄管理区間下流端 湯滝橋 川面地区 県道408号 千曲川(L23.8k川面地 千曲川 5 区)付近で浸水被害が 発生(H18.7出水)

- ※「水防災意識社会 再構築ビジョン」
- ➤ 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について~社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて~」が答申されました。
- ➤ 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- > 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

長野県長野市(屋島地区)、須坂市(福島地区)

H28事業費 1,477百万円※

※千曲川河川改修事業のH28全体事業費

事業の概要

千曲川左岸の長野市屋島地区及び右岸の須坂市福島地区の堤防は、高さや断面が不足しているとともに、浸透に対する安全度が低く、洪水により堤防が決壊した場合、甚大な被害が発生するおそれがあります。

堤防決壊による浸水被害を防止するため、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」※の取組における「洪水を安全に流すためのハード対策」の一環として、堤防整備を行うものです。

整備効果

堤防整備を行うことで、堤防の強化が図られ、一連区間での洪水に対する安全性が向上します。



- ※「水防災意識社会 再構築ビジョン」
- ▶ 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について~社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて~」が答申されました。
- ▶ 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- ➤ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

犬町ダム等再編事業

ながの おおまち 長野県大町市

H28事業費 204百万円

事業の概要

ちくま

本事業は、平成16年、18年と大規模な洪水により浸水被害が発生している千曲川の治水対策のため、高瀬川の既設ダムの容量を活用し、洪水調節機能を強化するもので、平成27年度から実施計画調査を進めています。

具体的には、既設の高瀬ダム・七倉ダム(発電専用ダム)の発電容量の一部と、大町ダム(多目的ダム)の水道容量の一部を洪水調節容量として新たに確保することにより、下流の洪水流量をさらに減少させるものです。

また、高瀬ダム・七倉ダムへの洪水調節機能の追加にあわせて、長期に安定的にダムの機能が確保されるよう、流入土砂対策を行うことも検討しています。

- ○目的 ・洪水調節 (犀川、千曲川、信濃川の洪水防御)
- ○概要 ・既設ダムを活かした洪水調節機能の確保 (既設ダムの容量振り替え、土砂搬出施設の整備)



しなのがわじょうりゅう

さかいがわ けいりゅう ほぜんこう

信濃川上流水系直轄砂防事業 (境川渓流保全工) の推進 長野県松本市 H28事業費 241百万円

事業の概要

奈川流域の大寄合川は、昭和58年の災害で氾濫実績があり、大寄合川上流の境川に位置する「そばの里奈川」は土砂とともに大量の流木が流下し埋没しました。境川では、川幅が狭く洪水時には流水が河道の疎通能力を超える可能性があり、渓畔林が茂りすぎると流木化が懸念されるなど防災面、環境面で課題があります。そのため、地元と協働で渓畔林の伐採を行う「里山砂防事業」の一環として、渓流保全工を施工するものです。

整備効果

渓流保全工の整備により、下流の保全対象の安全が確保され、渓畔林の流木化による災害が防止 されます。

平成28年度の事業内容

ながわ よりあい ど

松本市奈川寄合渡地区において、渓流保全工の整備を 推進します。









昭和58年9月28日、台風10号による集中豪雨により、境川などが氾濫し、寄合渡地区に土砂災害をもたらしました。

ひめ かわ

うら かわじょうりゅう さ ぼう えん てい ぐん

姫川水系直轄砂防事業(浦川上流砂防堰堤群)の推進

たがの きたあづみ おたり 長野県北安曇郡小谷村

H28事業費 414百万円

事業の概要

姫川支川の浦川流域には、明治44年8月の稗田山大崩壊による大量の崩壊土砂が現在も不安定な状態で堆積しています。併せて上流の唐松沢においても荒廃が著しく土砂流出が顕著なため、土砂災害発生の危険性が非常に高い状態にあります。

浦川上流砂防堰堤群は、荒廃の著しい浦川上流域に砂防堰堤群を整備します。

整備効果

砂防堰堤群の整備により、姫川流域の土砂災害に対する安全度が向上します。

平成28年度の事業内容

きた おたり

北安曇郡小谷村北小谷地区において、砂防堰堤群の 整備を推進します。

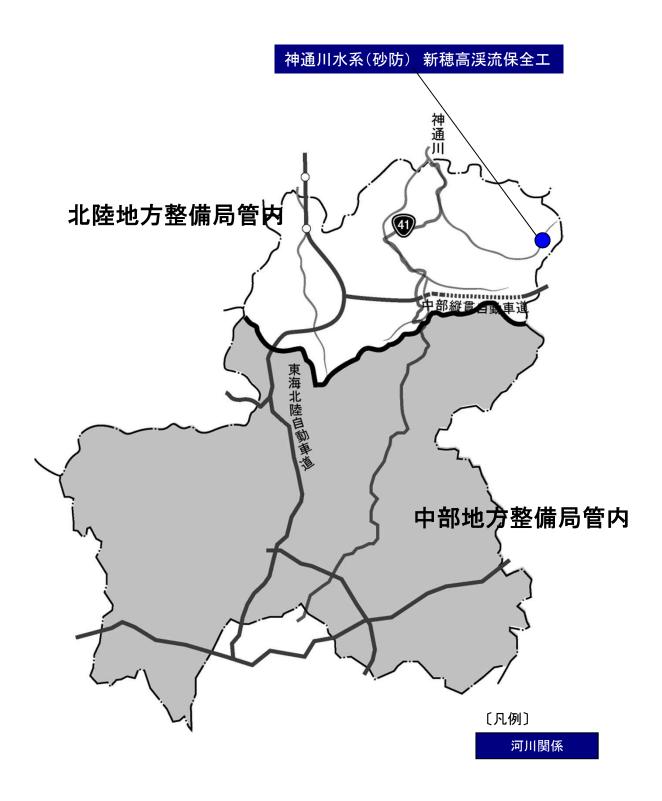


浦川上流砂防堰堤群全景



浦川上流にある稗田山崩壊地

岐阜県内の主要事業



じん づう がわ

しん ほ だか けい りゅう ほ ぜん こう

神通川水系直轄砂防事業(新穂高渓流保全工)の推進

岐阜県高山市

H28事業費 333百万円

事業の概要

神通川上流域は、北アルプスの厳しい気象条件に起因する高山性の崩壊地や、活火山の焼岳等に起因する火山性堆積物が広く分布しているため荒廃の著しい地域です。一方で、年間150万人が来訪する奥飛騨温泉郷等の観光地となっています。

新穂高地区は、当地域の観光拠点として利用されていますが、近年も上流の左俣谷等において山 腹崩壊に伴う土砂流出が発生しています。

沿川の公共施設及び宿泊施設等を土砂災害から守るとともに、同地区の景観や親水性等に配慮した渓流保全工を整備します。

整備効果

砂防堰堤や護岸工等の渓流保全工を整備することで、神通川流域における土砂災害に対する安全度が向上します。

また、観光地であることを考慮し、景観・親水性等に配慮することにより観光インフラの整備を 支援し、安全で住みよい地域の創出が図られます。



福井県内の主要事業(直轄)



[凡例]

つるが まりやまみなみ

敦賀港 鞠山南地区 国際物流ターミナル整備事業の推進

ふくい つるが 福井県敦賀市

H28事業費 200百万円

事業の概要

敦賀港は、背後圏に近畿・中京圏を擁し、従来からのフェリーに加え、北海道航路にRORO船が就航するなど、近畿・中京圏と北海道を結び日本海地域の発展に不可欠な港湾としての役割が期待されています。現在、冬季風浪等による港内静穏度の確保が求められていることから、航行船舶の安全性や荷役稼働率を向上させ、効率的な港湾物流を実現するため防波堤の整備を推進しています。

整備効果

港内静穏度が確保され、船舶の安定運航が可能となることにより、物流機能の向上、地域経済の発展を支援します。

平成28年度の事業内容

防波堤の整備事業を推進します。年度内の完成を予定しています。

【位置図】





福井港海岸 福井地区 海岸保全施設整備事業の推進

福井県福井市・坂井市 H28事業費 1,767百万円

事業の概要

福井港海岸は、背後に「国家石油備蓄基地」や県内有数の工業団地「テクノポート福井」が立地 し、県内における重要な産業及びエネルギー基地の拠点港となっています。

当海岸では、日本海特有の冬季波浪により既設護岸前面で侵食が生じており、波高増大や消波ブロックの飛散、越波による護岸背後の陥没被害などが多発、併せて地震発生時には、護岸背後の地盤の液状化が予測されており、現状施設は非常に危険な状態となっています。このため、背後地域の貴重な生命・財産を守るため早急な対応が求められていることから、「離岸堤〈潜堤〉」と吸い出し対策・耐震(液状化)対策の複合的技術である「護岸(改良)」による侵食対策事業を推進しています。

整備効果

冬季風浪を起因とする護岸前面の著しい侵食や越波の抑制、陥没の発生防止を行うとともに、地 震発生時における護岸の機能を確保します。

平成28年度の事業内容

離岸堤〈潜堤〉、護岸(改良)の整備を推進します。







その他の主要事業等

河川管理施設等の老朽化対策の推進

北陸地方整備局管内 H28事業費 8.164百万円

事業の概要

河川管理施設の点検を行い、施設の老朽化の進行等により機能が低下した排水機場、水門・樋管 等のゲート、護岸等の更新・補修等を実施します。

整備効果

既存の施設について元々必要としていた機能が低下し、安全性の確保が難しい箇所について、老 朽化対策により従前の機能を回復し、河川の安全性を確保します。

平成28年度の事業内容

洪水被害の軽減のため、老朽化等により機能が低下した既存河川管理施設の更新・補修等を実施 します。更に、洪水を安全に流下させるため、樹木伐採等を実施します。

機能が低下した既存河川管理施設の更新・補修等を実施







ゲート塗膜の劣化

ゲート扉体部の発錆

①水門等の開閉装置の補修・更新



洪水等により陥没した護岸

損傷した管理用通路

③護岸等の修繕

④老朽化した堰操作設備の更新

洪水を安全に流下させるために樹木伐採等を実施



河道内に繁茂した樹木



施設周辺に堆積した流木等

河川管理施設の点検



堤防点検により変状を確認

道路の老朽化対策、防災・震災対策の推進 北陸地方整備局管内

事業の概要

道路の老朽化対策

橋梁、トンネル等の道路構造物について、メンテナンスサイクル(点検・診断・措置・記録)の推進に取り組みます。

道路の防災・震災対策

大規模災害時の救命救急活動や復旧支援活動を支えるため、緊急輸送道路の強化を推進します。

平成28年度の事業内容

道路の老朽化対策

< 橋 梁 >



(点検)



(鋼部材の腐食及び塗装劣化)



(修繕:塗装塗替)

<トンネル>



(点検)



(覆エコンクリートのひび割れ)



(修繕:剥離・剥落対策)

道路の防災・震災対策

<防災対策>



(のり面対策)

<耐震補強>



(橋脚補強対策)

<防雪>



(雪崩対策)

平成28年度の道路調査の見通しについて

個別路線の事業化に向け、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。 主な調査箇所は、下記の通りです。

概略ルート・構造の検討 (計画段階評価を進めるための調査)

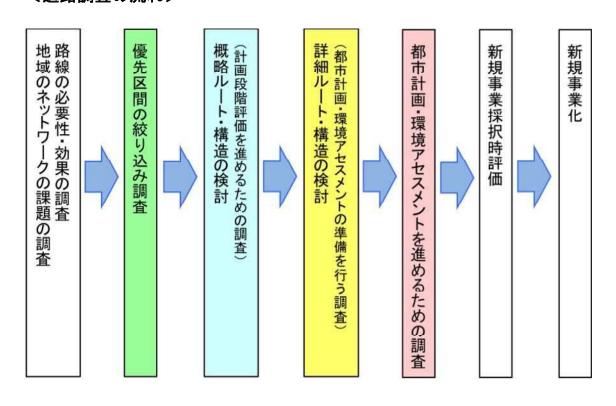
【主な調査箇所】

新潟県・山形県 新潟山形南部連絡道路(小国道路)

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や 道路網の課題等を調査し、地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理 等を進めることとしています。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等、基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



■県・政令市が管理する道路の平成28年度開通予定事業

【改築事業】

防災・安全交付金

事業主体	事業実施箇所	事業名	延長 (km)	左記事業が含まれる社会資本総合整備計画				
				計画名	配分国費[百万円]			
新潟県	長岡市	都市計画道路 槇山町亀貝線	0. 9	新潟県における街路の安全性の確保と市 街地の防災機能の向上	636			
富山県	富山市	都市計画道路 高熊井田線	0. 5	市街地における安心で安全なまちづくり (防災・安全)	289			

社会資本整備総合交付金

事業主体	事業実施箇所	事業名	延長 (km)	左記事業が含まれる社会資本総合整備計画				
				計画名	配分国費 [百万円]			
富山県	南砺市	都市計画道路 谷今町線	0. 2	交通結節点を中心とした都市拠点の整備	375			
富山県	上市町	都市計画道路 横越荒田線	0. 3	文通福朗点を中心とした都川拠点の整備	375			
新潟市	新潟市西区	主要地方道新潟中央環状線・中ノロエ区	0. 7	交通拠点アクセス道路整備	1, 274			